

ヒマラヤに抱かれた神秘の王国 どこか懐かしい“雲龍の国”へ

フータン
第3弾!

ブータン 西部

春のフラワーハイキング 9日間

～隠れ谷の里に行く シャクナゲ & サクラソウ探検隊～

5月19日(木)～27(金)



私たち日本人とそっくりな顔の人々が住むという国が
遥かなるヒマラヤにあると言う…
和服によく似た衣装を着て 仏教を信じ 挨拶の時に礼をする
お米を食べて 漆器を使い 味噌や蕎麦もある…
日本の文化や風俗が昔のままに残る国
日本人の記憶の中に眠る“遠いふるさと”を思わせる
なつかしの国「ブータン」



2006年に初めて訪れたブータンは、まさに私たち日本人とそっくりな顔の人々が住む、どこかなつかしい国でした。近年多くの日本人も訪れるようになり、お祭りなどは各国からの人々で溢れ、ブータンとは思えない混み具合。また比較的簡単に高山植物を見られるということで、ここ数年特にさらに人気となっています。混み合うお祭りシーズンを外して、観光メインから外れ、西部の最もブータンらしいと言われる、20世紀に入りようやく外国人にも開放された“隠れ谷の里”「ハ」の村を訪れながら、2500～4000m級のエリアにて、春の美しい谷や峠を日帰りで行くフラワーハイキング。訪れる季節は、天気も安定する旅行シーズン。

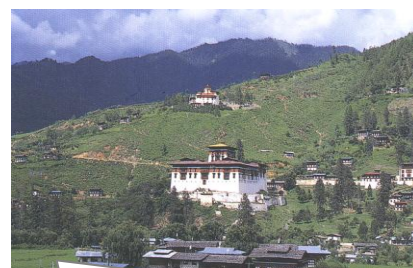
シャクナゲが峠を彩り、サクラソウが足元を飾る季節。シャクナゲとサクラソウの種類は世界でも随一！

田園風景とそこで暮らす人々と触れ合いながら、まだ未知なるエリアで春の花々を探る旅です。

高山植物と共に、静かなブータン時間の流れをじっくり味わっていただけることでしょう。

見どころ

- 何と言っても春の花・シャクナゲとサクラソウの季節。多種多様な花々は驚きの連続。標高差で変わる風景の中、春から初夏への花を堪能。
- 車で行ける最高峠 3900m、登山気分を味わえる 4,000mポイントなど異なる3つのエリアで、毎日日帰りで行くフラワーハイキング&散策
- 高度順応を考慮したゆったり行程。村では快適なホテルに3連泊。
(※ホテルもバス付など快適となり、食事も日本人向きになりました)
- 伝統的な農村生活が残る「ハ」の村で、民家訪問など。
- ブータンの聖地・断崖のタクツァン僧院へ、展望と大迫力ハイキング
- 現地ブータン人の優秀な自然ガイド同行。植物も日本語でご案内！



ブータンで初めて触れる風景
玄関口・パロと「パロゾン」…実際訪れます

①	千歳(午後)→直行又は経由便でバンコクへ(夜)	【バンコク泊】
②	〈バンコク→パロ〉*穏やかなパロの里の散策* 早朝便で、空路ブータンへ(午前)。パロのゾン(城)や谷の美しさを楽しみながら郊外などの散策。初めて触れるブータンをゆっくりと過ごします。	【パロ泊】
③	〈パロ→ハ〉*峠でフラワーウォッチング&隠れ谷の里へ* 道中道草ウォッチングしながら、車で行ける最高峠 3900m「チュレラ峠」で、高度順応も兼ねてフラワーウォッチング。午後、外国人がほとんど訪れないハの村へ。	【ハ泊】
④	〈ハ滞在①〉*テゴラ峠でフラワーハイキング* 終日、ハの村をベースに専用車で移動し、日帰りハイキング	【同上泊】
⑤	〈ハ滞在②〉*セララ峠でフラワーハイキング* 終日同上、前日とは異なるエリアで	【同上泊】
⑥	〈ハ→パロ〉*ハの村の散策等* 民家訪問などしながらハの村の散策 午後、パロへ。	【パロ泊】
⑦	〈パロ滞在〉*展望ハイキング* パロの郊外 900mの断崖絶壁に建つタクツァン僧院へ日帰りハイキング。	【パロ泊】
⑧	〈パロ→バンコク〉午前、ブータンに別れを告げ、夕方バンコクへ 夜便で帰国の途へ	【機内泊】
⑨	→直行又は経由便で、千歳空港へ(昼頃)	

※開花状況で訪れる箇所が変わる場合もあります。*3～5月はブータンの旅行ハイシーズンとなりますので、申込みはお早目に。

